

意見聴取結果とりまとめ

目 次

1. 意見聴取の概要
2. アンケート調査結果
3. ヒアリング調査結果
4. 優先的に解決すべき課題の評価

1. 意見聴取の概要

- 意見聴取のため、播磨臨海地域の沿線住民約1,600人、沿線地域の事業所約1,100社、道路利用者約1,100人からアンケート調査の回答を回収した。
- さらに、沿線地域における様々な活動主体、合計82団体・企業に対してヒアリング調査による意見聴取を行った。

調査種別	対象者	実施期間	対象地域・団体等	配布件数	回収件数	回収率	
アンケート	地域住民	郵送配布・回収	平成27年3月18日～平成27年4月6日	播磨臨海地域の沿線地域（※2）	3,700	1,266	34.2%
		常設・回収BOX	〃	沿線地域（※2）の官庁等、道の駅（8箇所）・PA	-	339	-
		合計	-	-	-	1,605	-
	事業所	当初送付分	〃	播磨臨海地域の沿線地域（※2）	2,200	753	34.2%
		追加送付分（※1）	平成27年4月1日～平成27年4月10日	〃	700	359	51.3%
		合計	-	-	2,900	1,112	38.3%
	道路利用者	WEB調査	平成27年3月18日	兵庫県、大阪府、岡山県	-	1,149	-
合計	-	-	-	-	3,866	-	
ヒアリング	関係自治体	平成27年5月26日～平成27年7月7日	沿線地域（※2）の自治体	7 団体・企業			
	地域住民代表		自治会長 等	12 団体・企業			
	救急医療		消防本部・消防局・警察、医療機関、血液センター	21 団体・企業			
	観光		観光関連部局、観光協会、観光事業者	4 団体・企業			
	製造業関連		工場・事業所	12 団体・企業			
	物流業関連		物流企業の事業所・営業所、トラック協会	11 団体・企業			
	農業関連		JA、卸売市場	6 団体・企業			
	漁業関連		漁業協同組合、水産加工センター、水産業者	6 団体・企業			
	交通関連		バス事業者・協会、タクシー協会	3 団体・企業			
	合計		-	82 団体・企業			

※1: 事業所アンケートは3月末時点で回収率が想定よりも低い状況であったため、4月1日に700事業所を対象として追加で送付

※2: 播磨臨海地域の沿線地域（明石市、加古川市、高砂市、姫路市、稲美町、播磨町、太子町、神戸市西区）
（ただし、関係自治体ヒアリングにおいては神戸市西区は対象外）

2. アンケート調査結果

<質問事項>

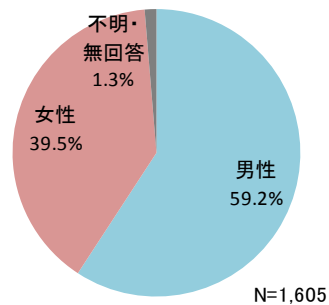
	回答者の属性	普段の 道路利用状況	優先して解決 すべき課題
地域 住民	① 性別 ② 年齢 ③ 職業 ④ 郵便番号	① 自動車の利用頻度 ② 主な利用目的 ③ 主な行き先	※優先的に解決すべきかどうか、「そう思う」「ややそう思う」「あまりそう思わない」「そう思わない」「分からない」の5つから1つを選択 ① 渋滞（国道2号BP、国道250号） ② 事故（国道2号BP、国道250号） ③ 老朽化（国道2号BP） ④ 経済活動への影響 ⑤ 災害への安心・安全の確保 ⑥ 騒音等の沿道環境の改善
事業所	① 従業員数 ② 業種 ③ 利用の多い車種 ④ 郵便番号	① 国道2号バイパス、国道250号の利用頻度 ② 利用する際の主な行き先	
道路 利用者	① 性別 ② 年齢 ③ 職業 ④ 郵便番号	※播磨臨海地域の道路について ① 自動車の利用頻度 ② 利用目的 ③ 出発地 ④ 主な目的地	

2. アンケート調査結果

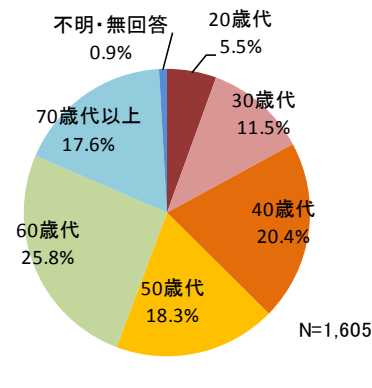
<回答者の属性・道路利用状況：地域住民>

- 男性が約6割、女性が約4割であった。
- 年齢は40歳代～70歳代がそれぞれ約2割と、各世代からバランス良く回答が得られた。
- 自動車をほとんど毎日利用する人が最も多く約6割を占める。

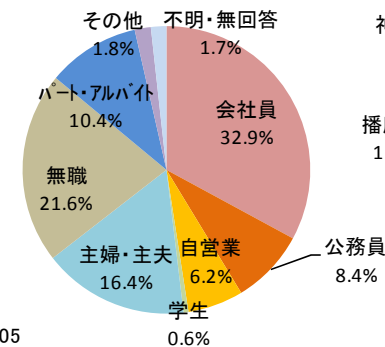
性別



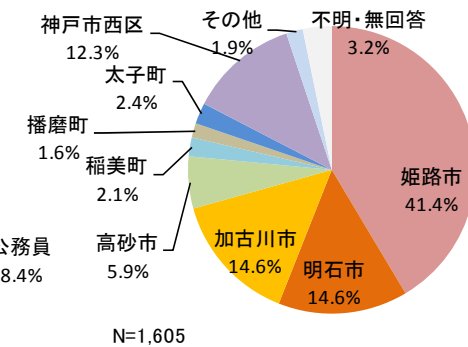
年齢



職業

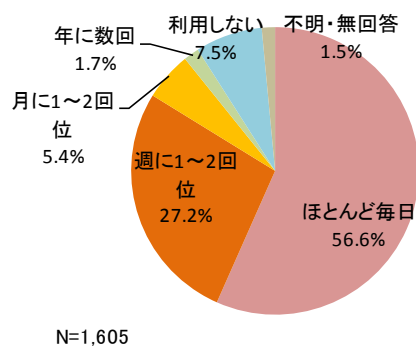


住所

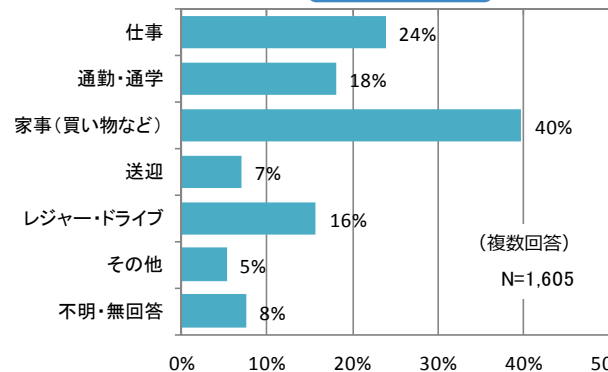


普段の自動車利用

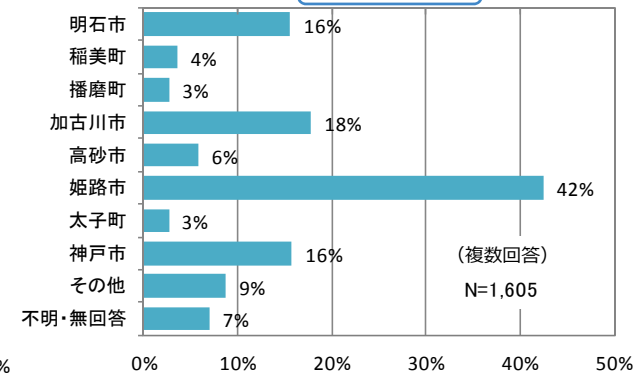
利用頻度



利用目的



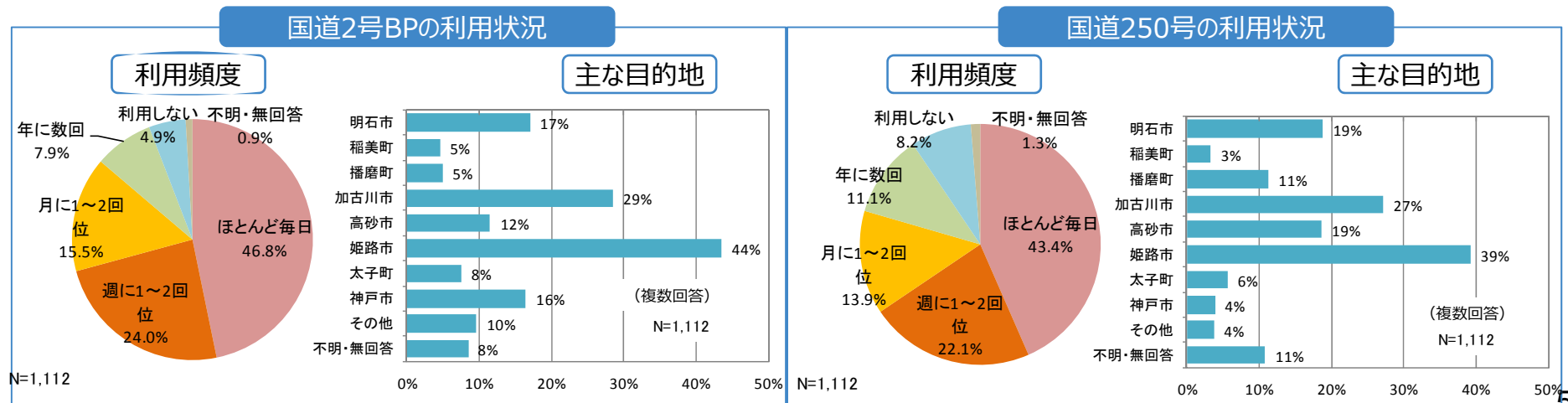
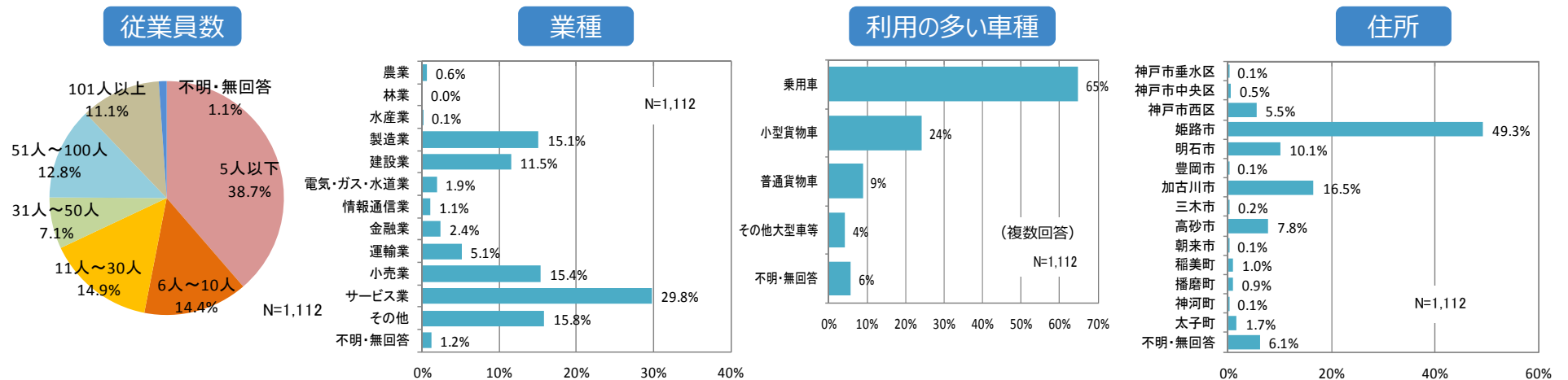
主な行き先



2. アンケート調査結果

<回答者の属性・道路利用状況：事業所>

- 従業員数は10人以下の事業所が多く、半数以上を占める。
- 業種はサービス業が最も多く、約3割を占める。製造業、建設業、小売業、その他がそれぞれ1割以上を占める。
- 乗用車を利用することが多い事業所が多く、約7割を占める。
- 国道2号BPや国道250号の利用頻度は両路線ともほとんど毎日利用する回答の割合が最も多く、4～5割を占める。

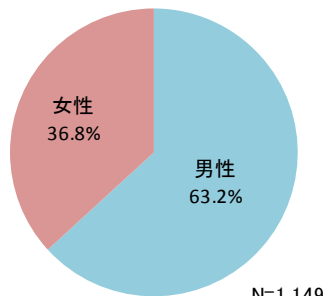


2. アンケート調査結果

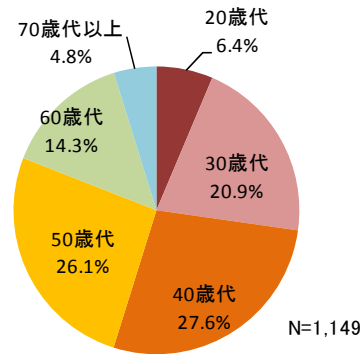
＜回答者の属性・道路利用状況：道路利用者＞

- 男性が約6割、女性が約4割であった。
- 年齢は30歳代～50歳代がそれぞれ2～3割と、各世代からバランス良く回答が得られた。
- 住所は播磨臨海地域外（大阪府、兵庫県、神戸市、岡山県）の合計が、約2割を占める。
- 利用頻度はほとんど毎日と週に1～2回位の合計が約6割を占める。
- 播磨臨海地域の道路を使った主な目的地は姫路市が最も多く、約4割を占める。

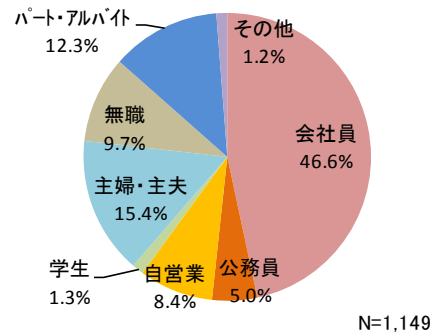
性別



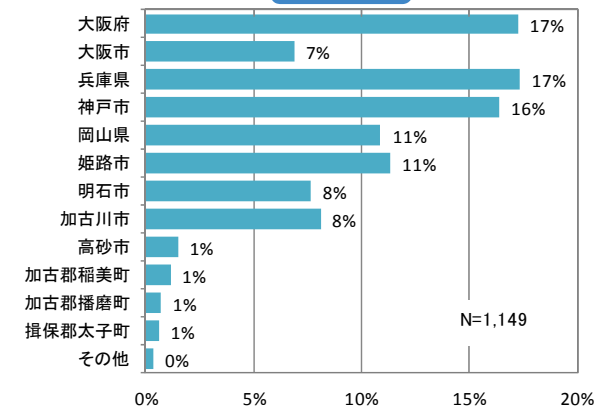
年齢



職業

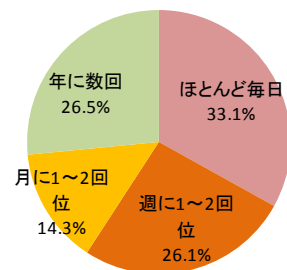


住所

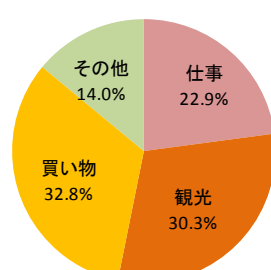


播磨臨海地域の道路利用状況

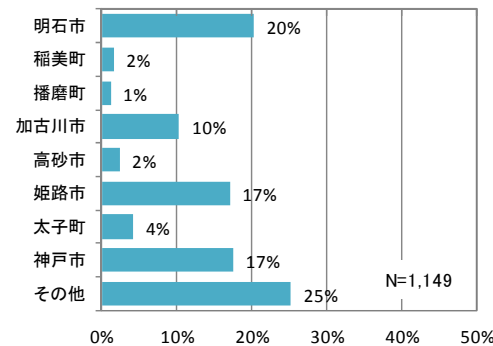
利用頻度



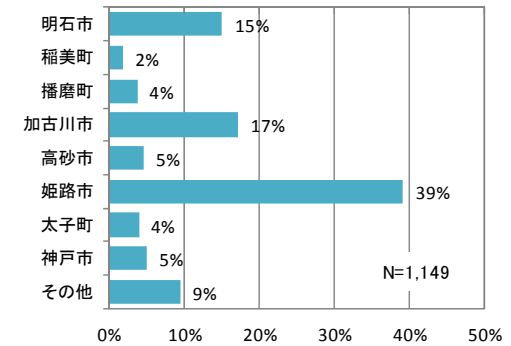
利用目的



出発地



主な目的地

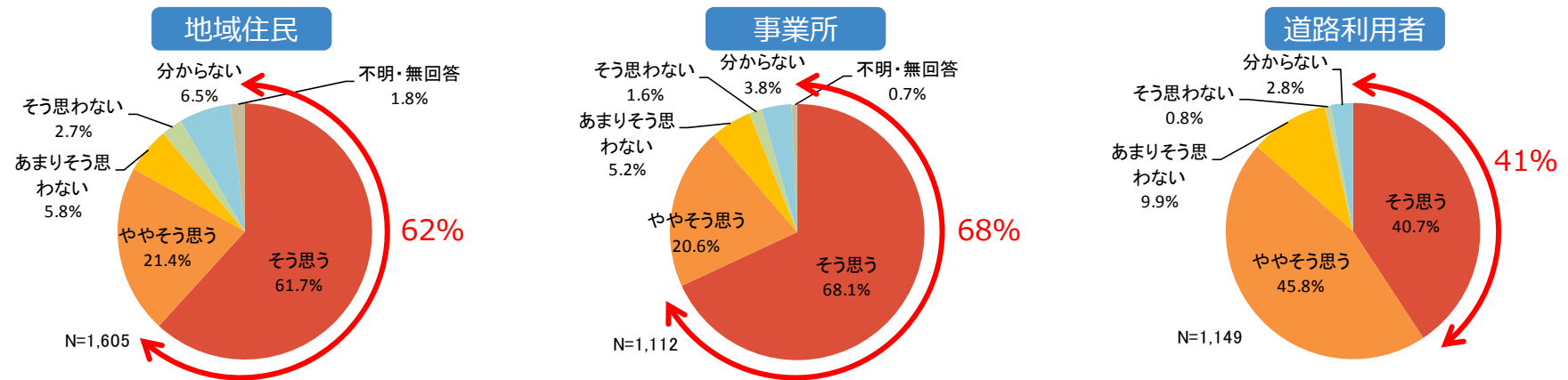


2. アンケート調査結果

＜優先的に解決すべき課題：国道2号BPの渋滞＞

- 地域住民の62%、事業所の68%、道路利用者の41%が、国道2号BPの渋滞を優先的に解決すべきと強く考えている。
- 道路利用者比べ、地域住民と事業所の方が、優先的に解決すべきと強く考えている割合が高い。

国道2号バイパスの渋滞を優先的に解決すべきだと思いますか。



国道2号BPの渋滞に対する主な意見

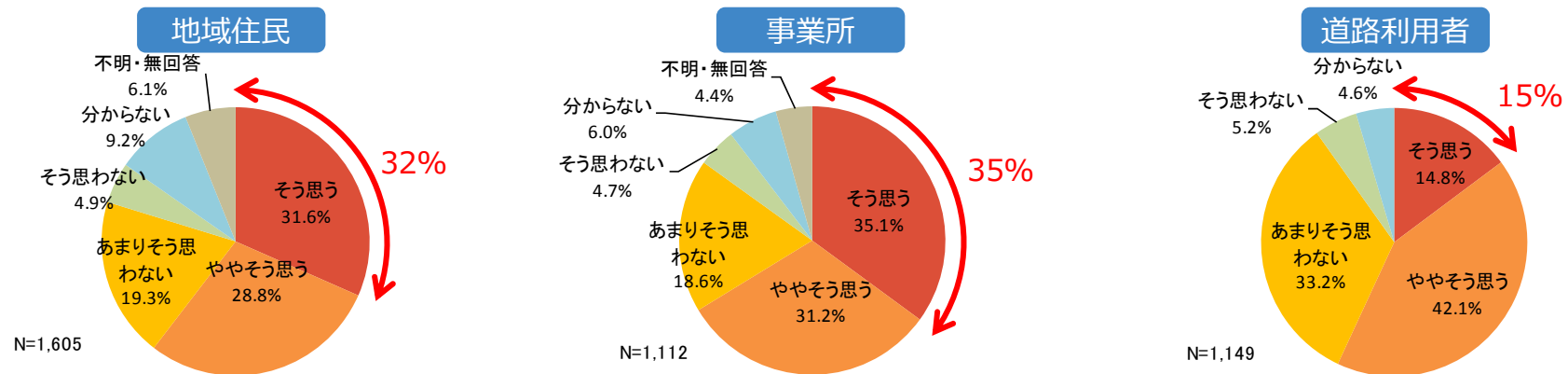
- 2号バイパスの出入路で渋滞する場合が多い。250号や明姫幹線に直接高架等で繋がれば良いと思う。(地域住民・男性・50歳代)
- 姫路バイパスの姫路東ランプは、大型車が多く、ほとんどが臨海部の企業からの輸送である。播磨地域で一番の工業地帯を活かすためにも、播但道との連絡、大塩～白浜までを優先して整備していただきたい。(地域住民・男性・50歳代)
- 国道2号バイパスへの交通集中が酷い。又、バイパスランプウェイから南北へ走る道が、ほぼ毎日渋滞で使いものにならない状況。(地域住民・男性・20歳代)
- 明石料金所、加古川東、加古川、姫路南付近の渋滞により、バイパス、生活道路の事故を誘発させているばかりか、事業の生産性を著しく低下させている。(事業所・建設業)

2. アンケート調査結果

＜優先的に解決すべき課題：国道250号の渋滞＞

- 地域住民の32%、事業所の35%、道路利用者の15%が、国道250号の渋滞を優先的に解決すべきと強く考えている。
- 道路利用者比べ、地域住民と事業所の方が、優先的に解決すべきと強く考えている割合が高い。

国道250号の渋滞を優先的に解決すべきだと思いますか。



国道250号の渋滞に対する主な意見

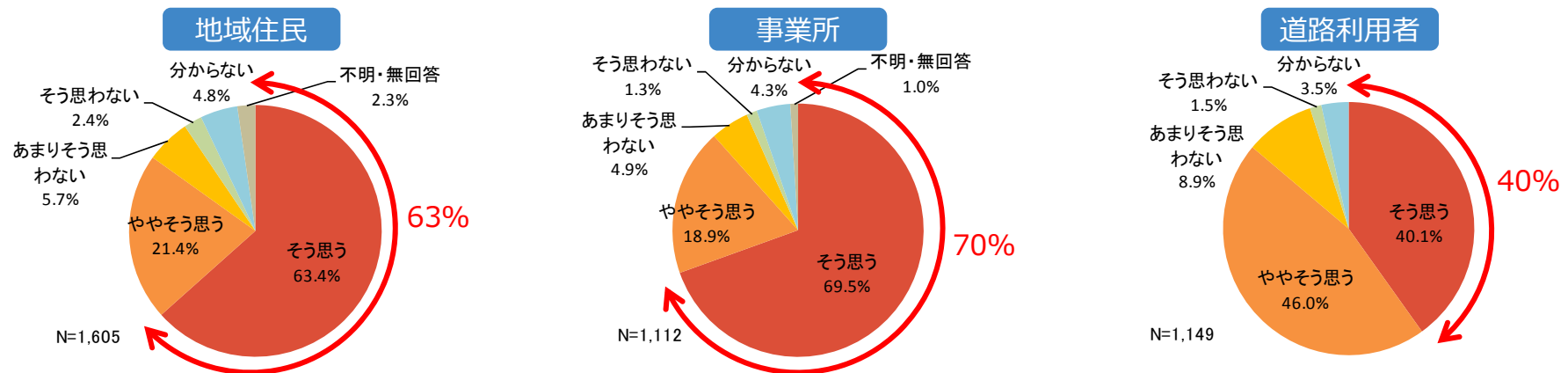
- 高砂以西の国道250号の渋滞が酷い。この区間は片側1車線であり、臨海工業地帯の主要道路として機能していない。早急に改善を図るべきである。(地域住民・男性・70歳代)
- 国道250号では、飾磨から広畑にかけて渋滞が酷く、4車線道路への改善が無理であれば、最優先区間として新道路の建設をお願いしたい。(地域住民・男性・70歳代)
- 国道250号今在家交差点付近の渋滞が酷い。私も先日、追突事故にあった。信号の多さ、交差点の改良を考えるべきである。(地域住民・男性・70歳代)
- 国道250号は姫路市以外、渋滞は少ないように思う。(事業所・金融業)

2. アンケート調査結果

＜優先的に解決すべき課題：国道2号BPの事故＞

- 地域住民の63%、事業所の70%、道路利用者の40%が、国道2号BPの事故の多発を優先的に解決すべきと強く考えている。
- 道路利用者 비해、地域住民と事業所の方が、優先的に解決すべきと強く考えている割合が高い。

国道2号バイパスの事故の多発を優先的に解決すべきだと思いますか。



国道2号BPの事故に対する主な意見

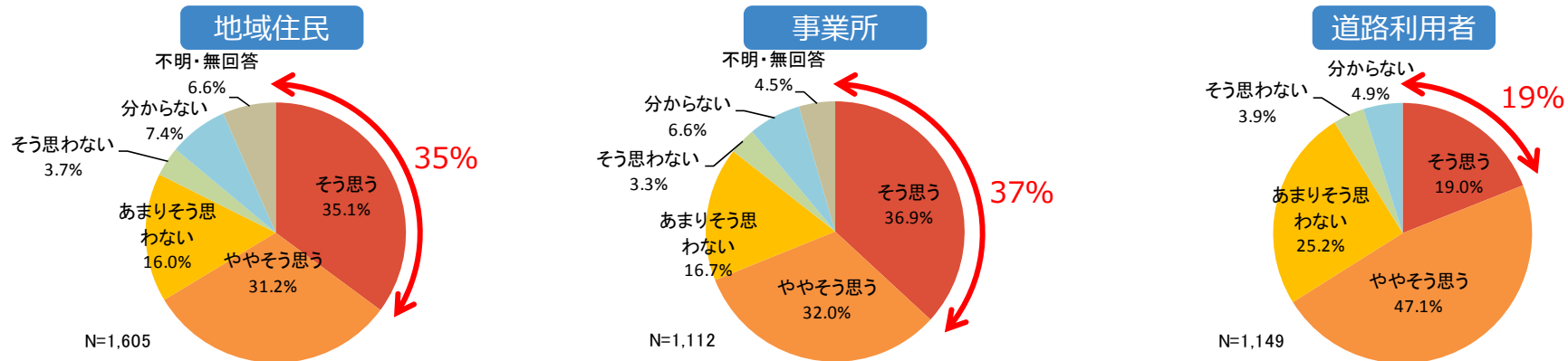
- 渋滞による不注意の追突だと思いが、本当に事故が多すぎる。毎日バイパスを利用しているため困っている。(地域住民・女性・40歳代)
- バイパスはスピードが出ているため大きな事故になりやすく、また物流車両が遠方へ行くために使用することも多いと考えられるので、仕事への影響も大きくなる。(地域住民・女性・20歳代)
- 国道2号バイパスが事故等で渋滞すると、国道250号を含め周辺道路も大渋滞になる。迂回ルートが必要である。(道路利用者・男性・40歳代)
- 国道2号BP事故からの渋滞影響にて会社遅刻、または大切な商談にも遅れるケースが多い。是非とも国道第二BPを造っていただきたい。(事業所・小売業)

2. アンケート調査結果

<優先的に解決すべき課題：国道250号の事故>

- 地域住民の35%、事業所の37%、道路利用者の19%が、国道250号の事故の多発を優先的に解決すべきと強く考えている。
- 道路利用者 비해、地域住民と事業所の方が、優先的に解決すべきと強く考えている割合が高い。

国道250号の事故の多発を優先的に解決すべきだと思いますか。



国道250号の事故に対する主な意見

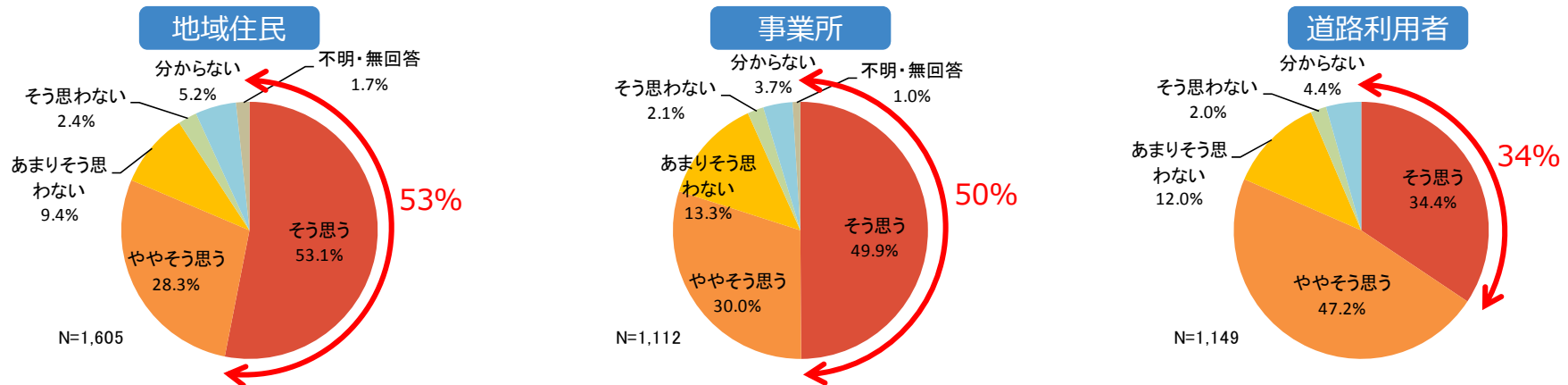
- 一般道に大型車が混入しているため、国道250号等の臨海部道路で事故が発生している。臨海部には大型車専用の産業道路が必要である。(地域住民・男性・50歳代)
- 環境のためにも隣町(電車1、2駅くらい)へ行く際に自転車を利用したいが、怖くて乗れない。国道250号を大型車が通らなくてもよい案を望む。(地域住民・男性・60歳代)
- 国道250号は大きなトレーラーやトラックが走っているので、歩行者、自転車で通る時怖い。(地域住民・女性・40歳代)
- 国道250号で直進車と右折車の事故が多い。危険性をよく感じる。(事業所・その他)

2. アンケート調査結果

＜優先的に解決すべき課題：国道2号BPの老朽化＞

- 地域住民の53%、事業所の50%、道路利用者の34%が、国道2号BPの老朽化を優先的に解決すべきと強く考えている。
- 道路利用者比べ、地域住民と事業所の方が、優先的に解決すべきと強く考えている割合が高い。

国道2号バイパスの老朽化を優先的に解決すべきだと思いますか。



国道2号バイパスの老朽化に対する主な意見

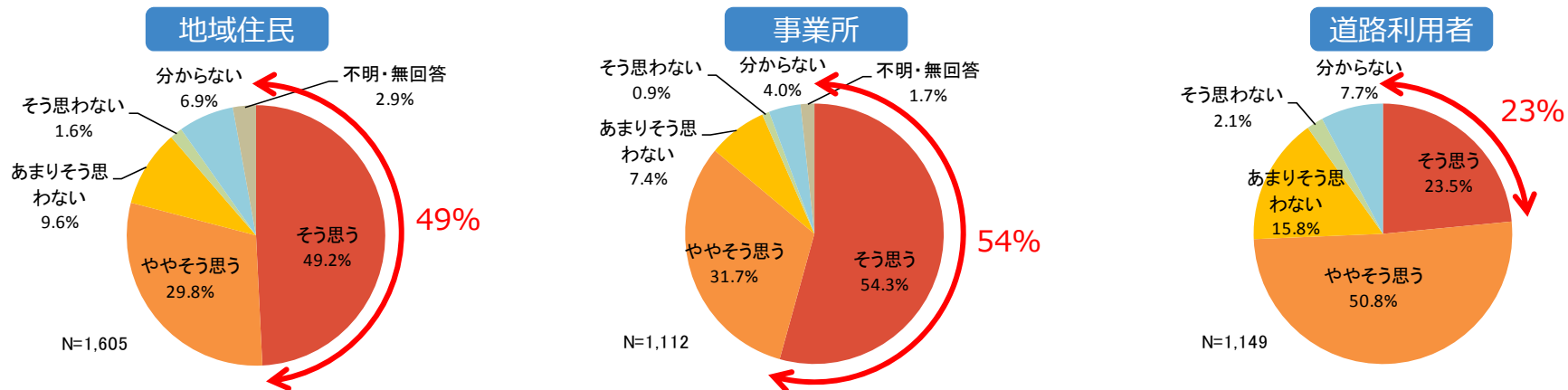
- 改修工事の際に、かなり長期間にわたり慢性的な大渋滞となる。実際、加古川中央JCT工事の時は何度も渋滞に巻き込まれたため、交通量が分散できる環境が整っていることが望ましい。(地域住民・男性・30歳代)
- 姫路バイパスにかわる東西幹線がない。このまま大規模な修繕を行うと、市内の交通は間違いなく麻痺する。(地域住民・男性・50歳代)
- 調査の上、必要部分については改修してもらいたいが、工事により事故や渋滞が増加しないよう配慮が必要。(地域住民・男性・30歳代)
- 老朽化はあらゆる自然災害の影響を多大に受けると思われるので、対策は優先的に行って頂きたい。(事業所・建設業)

2. アンケート調査結果

＜優先的に解決すべき課題：経済活動への影響＞

- 地域住民の49%、事業所の54%、道路利用者の23%が、産業活動、日常生活へ与える影響について優先的に解決すべきと強く考えている。
- 道路利用者比べ、地域住民と事業所の方が、優先的に解決すべきと強く考えている割合が高い。

産業活動、日常生活へ与える影響について優先的に解決すべきだと思いますか。



経済活動に対する主な意見

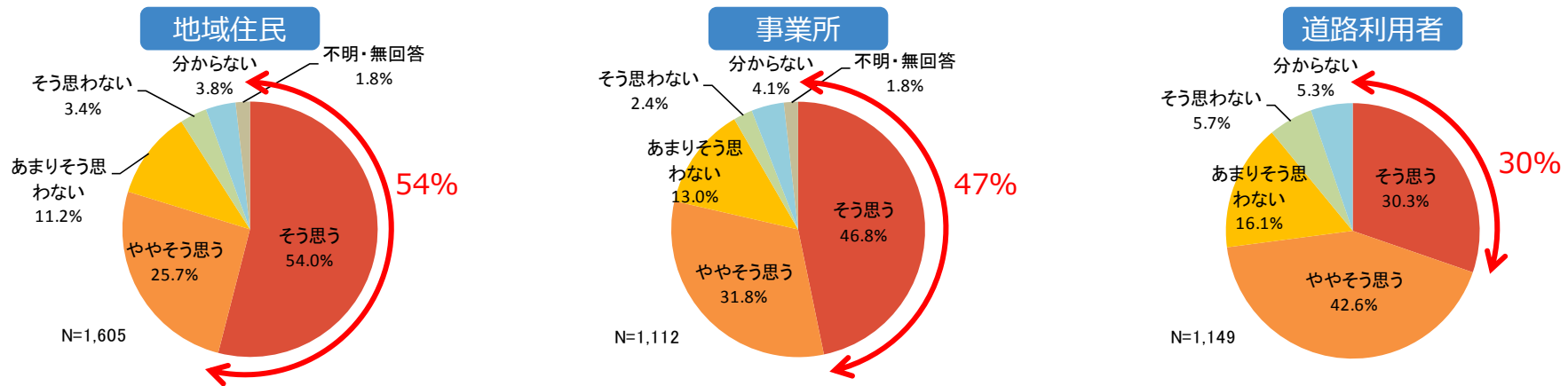
- 播磨地域の発展には、道路整備が不可欠である。特に姫路市東部の整備が急務となっている。(地域住民・男性・60歳代)
- 播磨の工業生産額が豊田に次いで2位ということをよく聞かすが、工業構造の付加価値におけるレベルは高いとはいえないのではないか。輸送の弱さが経済活動の足を引っばっているように思う。(地域住民・男性・60歳代)
- 播磨地域における産業活動が衰退すれば、地域全体の衰退につながる。日常生活に悪影響を与えない範囲で物流を確保し、一方でマイカー通勤を規制するなど環境への配慮も必要である。(事業所・運輸業)
- 物流基盤の弱い地域は企業の進出はない。国として再優先で考えてもらいたい。(事業所・運輸業)

2. アンケート調査結果

<優先的に解決すべき課題：災害への安心・安全>

- 地域住民の54%、事業所の47%、道路利用者の30%が、南海トラフ巨大地震による津波浸水や河川の氾濫による道路寸断の危険性について優先的に解決すべきと強く考えている。
- 道路利用者 비해、地域住民と事業所の方が、優先的に解決すべきと強く考えている割合が高い。

南海トラフ巨大地震による津波浸水や河川の氾濫による道路寸断の危険性について優先的に解決すべきだと思いますか。



災害への安心・安全に対する主な意見

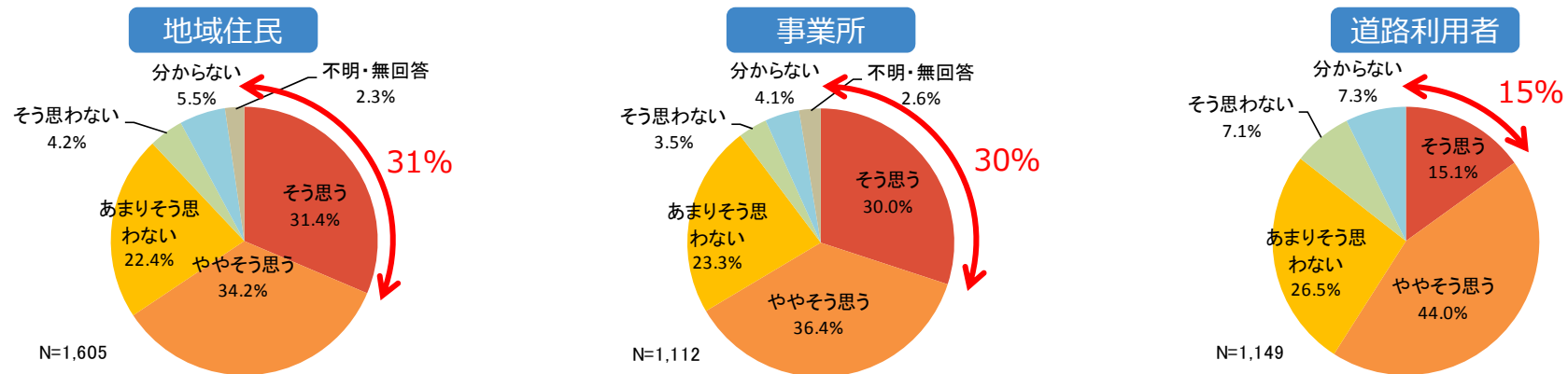
- 津波や氾濫による東西交通の寸断は絶対に避けなければならないのは当然であり、山崎断層がらみの災害も予測されているのだから、南北の基幹道路も整備してもらいたい。(地域住民・男性・60歳代)
- 南海トラフ巨大地震による津波を想定すると、現在の橋梁はもたないだろう。また浸水により通行が不可能ではないかと思っている。海岸部での対応としては高架構造しか考えられない。(地域住民・男性・70歳代)
- 国道250号線は、土地が低く、浸水の恐れが十分ある。(地域住民・女性・60歳代)
- いつ起こるとも限らない地震ではあるが東西の新しい道路は絶対に必要だと思う。災害から守ると同時に復旧にも道路は必要なので作るべきだと思う。(道路利用者・女性・50歳代)

2. アンケート調査結果

＜優先的に解決すべき課題：環境への影響＞

- 地域住民の31%、事業所の30%、道路利用者の15%が、自動車騒音など、現状の沿道環境を優先的に解決すべきと強く考えている。
- 道路利用者比べ、地域住民と事業所の方が、優先的に解決すべきと強く考えている割合が高い。

自動車騒音など、現状の沿道環境を優先的に解決すべきだと思いますか。



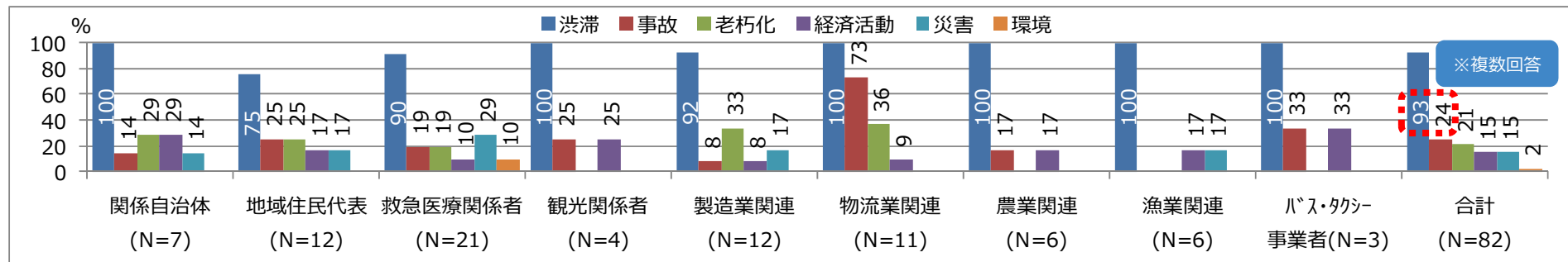
環境への影響に対する主な意見

- トラック等の大型車が生活道路を通過しており、振動や騒音が酷い。（地域住民・男性・60歳代）
- 大気汚染問題は渋滞が緩和されれば良くなると思うので、渋滞の対策を先に優先してほしい。（地域住民・男性・40歳代）
- 騒音や大気汚染などの車、特に大型トラックに対処するためにも臨海地域道路の適切な建設が望ましい。国道250号と姫路バイパスでは限界がある。（地域住民・男性・60歳代）
- 沿道環境の改善と産業活動の活性化を両立するためには、マイカー通勤の自粛の他、生活道路と物流幹線を分ける必要があると考える。（事業所・運輸業）

3. ヒアリング調査結果

<特に優先的に解決すべき課題>

- 特に優先的に解決すべきと考えている課題については、ヒアリング対象82団体・企業のうち、9割以上が渋滞を優先的に解決すべきと回答。
- 渋滞に次いで、全体の約2割が事故を特に優先的に解決すべきと回答。



項目	主な意見
渋滞	<ul style="list-style-type: none"> ■ 国道2号BPのランプ部に繋がる南北道路が混んでいる。加古川西Rから工場までの南北道路である高砂北条線が混んでおり、特に通勤時間帯で顕著である。加古川西Rや加古川R、加古川東Rの南側南北道路も慢性的に混む。(製造業関連) ■ 西行のオフランプに関して、朝夕ピーク時に、姫路東ランプ、市川ランプ、姫路南ランプ、中地ランプは本線上まで渋滞が延伸している。本線上まで延伸した渋滞末尾を避けるための急な右車線への車線変更による事故が多い。(製造業関連) ■ 国道250号では、朝の工場への通勤渋滞が酷いが、飾磨バイパスが整備されて渋滞はましになったように思う。(農業関連) ■ 渋滞がなくなれば、イカナゴなど鮮魚は何度も送り込むことができ、売上UPにつながる。2~3倍になることも考えられる。(漁業関連)
事故	<ul style="list-style-type: none"> ■ アップダウンがきつく交通量が多いため加古川バイパス・姫路バイパスは事故が多すぎる。事故の内訳は半数以上が追突で、本線上やランプ部での停止車両に突っ込むような事故形態である。(救急医療関連) ■ 臨海部等を発着する大型車が生活道路まで流入している箇所があり、非常に危険。特に渋滞のひどい朝夕の時間帯で目立つ。この時間帯は子供の登下校の時間と重なるため、大きな問題である。(地域住民代表) ■ 地域全体として、産業、通勤、通学の車と人が混在しているため危険である。(交通関連)
老朽化	<ul style="list-style-type: none"> ■ 渋滞がひどい地域であることは間違いないが、それだけでなく老朽化への対策も重要。(観光関連)
経済活動	<ul style="list-style-type: none"> ■ 荷物は東方面へ運ぶことが多く6~7割を占めており、中でも大阪や神戸の割合が高い。(物流業関連)
災害	<ul style="list-style-type: none"> ■ 山崎断層が動くと山陽道・中国道とも通行できなくなるはず。南部地域に代替路整備が必要である。(農業関連)
環境	<ul style="list-style-type: none"> ■ 舗装など幹線道路に比べ簡易な道路構造である生活道路への大型通行による、沿道の騒音・振動が懸念される。(関係自治体)